

# 分会ニュース

発行責任者 多田 一夫

発行編集者 教 宣 部

## 「主任レポート」の書き込み強要を許さない！

11月分の「主任レポート」に書くことが無かったので、レポートに「特になし」と書いて提出すると、なんと会社は「特になしではダメです」と言ってきました。

何度も「書くことが無いので『特になし』と記入して提出します」と説明しているにもかかわらず、日笠助役他の管理者は「『特になし』は（主任レポートとして）認められません」「何か書いてくれ」「業務指示です」等と言い放ち、主任レポートを受け取るどころか、書き込みを強要してきました。そもそも、会社はこれまで「主任レポート」の教育で「記入することが無ければ『特になし』と記入して提出してほしい」と言っていました。複数の人がそう言われています。

しかし、今回の事態は、会社が行ってきた「主任レポート」に対する教育を自ら否定するものであります。会社がコロコロと言うことが変わるのであれば、社員としては「会社の言うことは信じられない」との疑念しか生まれてきません。

日笠助役他から「何か書いてくれ」と言われた組合員は「書くことが無い」「『特になし』は認められないのか」「受け取りを拒否するのか」等を問いましたが、日笠助役他からはそれらの問いに対する答えは無く「何か書いてくれ」等を繰り返すだけでした。

私たち J R 東海労は「主任レポート」に反対しています。なぜなら社員同士が工作中、常に相互監視状態になり、労働集約型の鉄道業にふさわしくなく安全を脅かすものだと考えているからです。現に12月の所長訓辞では「主任レポート」について「月に2件以上の提出者」がいることなどが言われており、提出者の点数稼ぎのためのツールとして定着しつつ、よりエスカレートしていることが明らかになっています。

私たちは安全で明るく風通しの良い会社を目指し、このような問題しか生じさせない「主任レポート」に労働組合としてこれからも反対します！